

富山デザインコンペティション 2022 受賞作品の決定について

11月9日に開催した「最終審査」の結果、以下の3点を受賞作品に決定しましたのでお知らせします。

グランプリ クモ ふるい しょうま KUMO / 古井 翔真

テーマB：プラスチックをいかす
株式会社タカギセイコー

富山県の広い空に浮かぶ雲から着想を得た巨大な吊り下げ照明をデザインしました。富山県の偉大な山々に現れる雲と美しい日本海に現れる雲の特徴を形どったシリーズ照明です。素材であるプラスチックを単なる外装ではなく、内部の立体的な明かりを映し出す境界として捉えました。



■プロフィール

1997年 大阪府 堺市生まれ。2020年に名古屋市立大学 芸術工学部を卒業。卒業後、インハウスデザイナーとしてソリューションやBtoB製品のデザインを担当。

準グランプリ ホールド オー HOled / ooooo

テーマC：孔（あな）をあける
株式会社クリエイティブ

パンチングメタルが持つ「軽さ」と「モアレ」の魅力を伝える照明。2つの魅力を助長し、パンチングメタルが主役となる照明を提案したい。シェードを吊った支柱はやじろべえの構造で、2組のシェードは揺れながら回転し自然に動く事で「軽さ」が伝えられる。パンチングシェードは丸孔で構成された柄全体を4° 傾斜させ、三角孔で構成されるパターンと重ねると軽やかな縞柄の「モアレ」が生まれる。この「軽さ」と「モアレ」によって、パンチングメタルに新しい価値を与える有機的なデザインとなった。



■プロフィール

2019年設立。現在5名で東京を拠点に活動中。モノやグラフィックのデザインからバーや貿易、映像に至るまで、さまざまな分野の人間が集まり協働しています。それぞれの分野だけでは見つからない価値を互いに生み出し、最適なアイデアを見つけ、実現していきます。

審査員特別賞 パルモチェア やじま ふみつぐ Pulmo Chair / 矢島 章壘

テーマA：くらしをつなぐ
株式会社米三

Pulmo Chairは、不要になった椅子と、新聞紙や段ボールなどの古紙から作られたパルプモールドの座面を組み合わせたチェアです。不要になったチェアの構造部分はそのまま生かし、パルプモールドの座面を被せることで、新たな椅子に生まれ変わらせることができます。原材料それぞれの自然な色味を残した座面は環境負荷が小さく、簡単に脱着でき、定期的に変換することで長く使い続ける事が可能です。捨てられるはずだった椅子を、新たに生まれ変わらせることで末永く使う。これからのくらしをつなぐ、新しい家具のかたちの提案です。



■プロフィール

飛騨高山に移住し家具デザインと制作技術を学び、家具メーカーにてデザイン・設計職として勤務。現在は専門商社にて家具の開発・品質管理業務に従事。個人活動として国内外のデザインコンペティションに参加。物事の本質的な価値を明確に伝えるデザインを心掛けています。